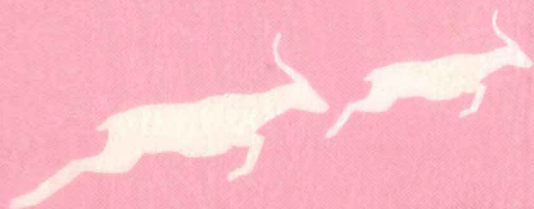
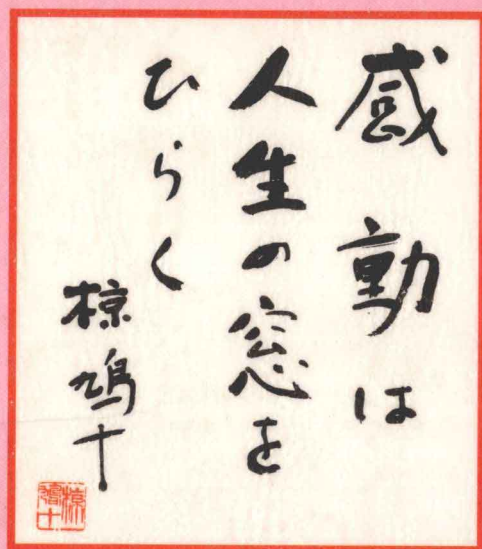


第8回

椋鳩十文学記念館賞

全国読書感想文



入賞作品集

椋鳩十文学記念館

感動は 人生の窓をひらく

棕 鳩 十

第8回棕鳩十文学記念館賞
全国読書感想文コンクール
入賞作品集

江苏工业学院图书馆
藏书章



棕 鳩 十 文 学 記 念 館

第8回 椋鳩十文学記念館賞
**全国読書感想文
入賞作品集**

平成11年1月24日 発行

編集・発行 椋鳩十文学記念館
鹿児島県始良郡加治木町反土2624-1
TEL0995 (62) 4800

印刷 斯文堂株式会社
鹿児島県鹿児島市新屋敷町14-16
TEL099 (226) 3747

刊行にあたって



第八回 椋鳩十文学記念館賞・全国小中学生読書感想文募集を行いましたところ、全国各地から多数の応募があり、うれしく思っております。

椋鳩十文学記念館が出来たのは、平成二年六月でした。開館して九年経ちました。この間、全国すべての都道府県から見学・視察においでになって、椋鳩十文学に親しんでいただいております。

小・中学生のみなさんもたくさんおいでになって、興味深く勉強しております。

さて、今年度応募してくださったみなさんの読書感想文を読ませていただいて、たいへん力強くなったのを感じました。

まず何よりも前向きな姿勢で、椋先生の作品・物語を読んでいるということ、そして、自分の生活に生かそうという気持ちがひしひしと感じられました。

今日よく「読書ばなれ」ということがいわれていますが、たしかに世の中の姿をある角度から眺めると、そういえるでしょう。でも応募されたみなさんの感想文を読んでいると、私は一口にそうは思いたくありません。

うっかりしていると、自分を見失いそうないそがしい生活の中に、さらには、物の豊かさに心の栄養を忘れそうになる日びの生活の中に、自分をささえ、前向きに生活するだいじな心がまえとし

て、「読書」を位置づけていることをたいへんうれしく思っています。

椋鳩十の作品は、みなさんが読んでわかるとおり、やさしく読むことが出来ます。でも、読めば読むほど、深い、深いものを感じさせられてなりません。引きつけられてしまうのです。そして、物語を読んで、その心が、作品のたましいが、語りかけてき、はげましてくれるのです。

何と不思議な作品なのでしょう。

この入賞作品集は、あなたをはじめ、親・兄妹・友だちに、心ゆくまで読んでいただきたいのです。

椋文学作品の愛読とともに、他の作家の作品も読んで、心豊かで感動の生活でありますように願ってやみません。

椋鳩十文学記念館

館長 榎 蘭 高 雄

応募状況

学年別・図書別応募状況

小学校(低学年)	1年	2年
カラスのクロと花子	3点	11点
ゾウの旅	17点	36点
森のおばけ	13点	6点
対象外作品	0点	3点
小計	33点	56点

小学校(中学年)	3年	4年
アルプスのキジ	10点	18点
モモちゃんとかかね	23点	21点
森の王者	15点	22点
対象外作品	3点	4点
小計	51点	65点

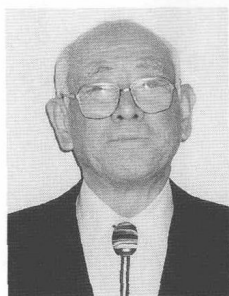
小学校(高学年)	5年	6年
犬塚	16点	20点
人間はすばらしい	16点	12点
やせ牛物語	13点	8点
対象外作品	14点	1点
小計	59点	41点

中学校(全学年)	1年	2年	3年
黄金の島	3点	0点	1点
熊野犬	19点	11点	10点
にせものの英雄	9点	5点	9点
対象外作品	1点	2点	0点
小計	32点	18点	20点

都道府県別応募点数

県名	作品数	県名	作品数	県名	作品数	県名	作品数
北海道		東京	42	滋賀		香川	
青森		神奈川	11	京都	1	愛媛	
岩手	4	新潟		大阪	7	高知	2
宮城	2	富山		兵庫	5	福岡	28
秋田	1	石川	1	奈良		佐賀	9
山形		福井	1	和歌山	1	長崎	
福島		山梨	2	鳥取		熊本	
茨城	1	長野	2	島根	2	大分	5
栃木	3	岐阜	4	岡山	1	宮崎	
群馬	1	静岡	9	広島	4	鹿児島	195
埼玉	12	愛知	3	山口	10	沖縄	
千葉	3	三重		徳島	3	合計	375点

審 査 員



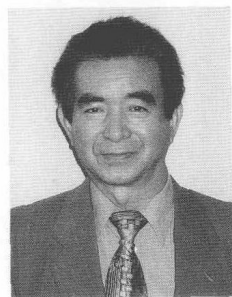
(審査員長)
三 浦 定 雄

鹿児島県の昔話研究会長
南日本作文コンクール審査員
元南日本放送作文審査委員



佐 藤 義 巳

読書指導実践家
棕鳩十文学研究者



森 田 一 正

作家
第17回南日本文学賞受賞



畠 野 洋 子

児童文学研究家
棕鳩十文学研究家



二 見 朱 実

エッセイスト
「ひまわり」読書会主宰



谷 けいこ

メルヘン作家
詩人

審査を終えて

審査員長 三 浦 定 雄



第八回の全国読書感想文コンクールには、三十一の都府県から三百七十五編の応募がありました。この応募数は前年より減少しています。減ったわけの一つには、応募のきまりが守られて、一つの学級から多くを応募することがなくなっただけもあると思われます。応募しなくても佳作作品を読み親しんだ小・中学生は数多くいると思いますが、次回からは、より多くの地域や学校から応募があることが望まれます。

審査は、一次、二次の審査を経て最終審査を行ない、入念に読み比べて入賞作文を選びました。今回は、中学二年には優秀賞に該当するものがなく、特選を三編にしました。この学年は、他の学年に比べても少ない応募数でした。なお、今回から新たに学校賞が設けられました。これを選ぶに当たっては、どの学年からも応募があることや、前回までの実績を考慮し、離島、へき地の学校や小規模校への配慮もしました。

審査を終えて感じたことは、自分の読後の感動を見つめなおし、どの感想を中心にして書くかをきめて書いている感想文が多くなってきました。物語の筋を追って、そのつどの感想を書いているものは少なくなっています。最優秀賞の大矢君は「にせものの英雄」を読んで、本や

人との出会いはその人の将来に大きなかわりをもつものだとは強く感じて、椋先生は出会いによってどう変っていったかを考え、さらに自分の経験や皇后さまの講演などの例をひいて、感動を確かなものにしています。紙面のつごうで他の作文をあげて書くことはできませんが、優れた感想文の多くは読後の感動を見つめなおし、自分の経験や他の事例などを考えてそれを一層深めています。このような読書をすれば、作品からの影響が強まり、豊かな心が育つでしょうし、その感想文は読む人の共感をさそいます。

また、今回の応募作文が、濃い文字で読みやすく、ていねいに書いてあったことをうれしく思いました。

椋先生の作品は、おもしろくて楽しいというだけでなく、人が生きていくためのいろいろな課題を、子どもにも親しめる言葉で、わかりやすく説き聞かせてくれています。自分が育っていくためによい出会いになるこれらの作品を、これからも読み親しんでいってください。

目次

刊行にあたって

椋鳩十文学記念館長 榎園 高雄

応募状況

審査総評

審査委員長 三浦 定雄

△最優秀賞▽ 出会いを大切に

広島県私立広島学院中学校 一年 大矢 哲…3

小一〈優秀賞〉 「ゾウのたび」をよんで

佐賀県唐津市立大成小学校 一年 わきやま まい…9

〈特選〉 がんばれ、クロ

鹿児島県加治木町立柁城小学校 一年 まつさき あみ…12

みずってだいじだね

鹿児島県栗野町立幸田小学校 一年 うちむらげんき…16

小二〈優秀賞〉

かなしいゾウのたび

山口県由宇町立由宇小学校 二年 大矢 いたる… 20

〈特選〉

もう一人じゃないよ

鹿児島県加治木町立柁城小学校 二年 大 ぼ 文 か… 24

同じ心でなかよくしよう

鹿児島県加治木町立柁城小学校 二年 はら口 よしき… 27

小三〈優秀賞〉

「森の王者」を読んで

山口県萩市立明倫小学校 三年 佐藤 丈 允… 33

〈特選〉

通じあう心

徳島県吉野町立柿原小学校 三年 中西 智 代… 37

本を読んでではじめてないたよ

鹿児島県東串良町立柏原小学校 三年 岡 元 あ や… 40

小四〈優秀賞〉

「森の王者」を読んで

愛知県岡崎市立三島小学校 四年 武藤 龍一郎… 44

〈特選〉

「アルプスのキジ」を読んで

佐賀県伊万里市立波多津小学校 四年 田中良輔…48

小指の思い出

山口県大畠町立遠崎小学校 四年 難波美樹…52

小五〈優秀賞〉

人間はすばらしい

鹿児島県始良町立山田小学校 五年 牧瀬大輔…59

〈特選〉

アカはかしこいパートナー

岩手県釜石市立大石小学校 五年 三浦絵未…62

「人間はすばらしい」を読んで

鹿児島県加治木町立錦江小学校 五年 泉奈津子…66

小六〈優秀賞〉

心の結びつきのすばらしさ

鹿児島県始良町立山田小学校 六年 有村江里子…70

〈特選〉

アカに出会って

徳島県吉野町立柿原小学校 六年 中西佳代…74

出会いの大切さ

鹿児島県加治木町立柁城小学校 六年 藤野 直人…77

中一〈優秀賞〉

優しさと強さを

鹿児島県加治木町立加治木中学校 一年 坂元 耕太郎…83

〈特選〉

沈黙のメッセージ

大阪教育大附属平野中学校 一年 黒田 裕子…87

戦禍の動物達

大阪教育大附属平野中学校 一年 田積 祥子…91

中二〈特選〉

マヤとのきずな

鹿児島県加治木町立加治木中学校 二年 穂森 麻衣…95

人間という人間

大阪教育大附属平野中学校 二年 芝池 幸子…99

人生を変える出会い

東京都足立区立第五中学校 二年 栗原 幸大…103

中三〈優秀賞〉 「黄金の島」を読んで

鹿児島県加治木町立加治木中学校 三年 穂 森 夏 美… 108

〈特 選〉 「にせものの英雄」を読んで

鹿児島県加治木町立加治木中学校 三年 松 本 果 代… 111

出会いと感動そして才能

埼玉大教育学部附属中学校 三年 松 井 千 秋… 115

入賞者名一覧

あとがき

..... 119
..... 126

最優秀賞



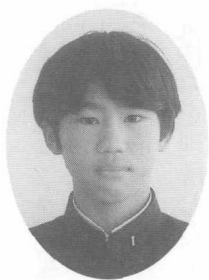
棕鳩十文学記念館本館（平成2年6月16日開館）

最優秀賞

出会いを大切に

広島県私立広島学院中学校

一年 大矢 哲



「本にしろ、人間にしろ、どういうものに出会い、何に感激したかということが、その人間に大きく、かわり合うものだということ」この部分を読んで、思わず

「本当に、そうなんだ」

と、叫びたい気持ちでした。

この「にせものの英雄」という作品は、今まで読んだ椋作品とちよつとちがつていました。椋作品というと、どうしても、『動物・自然』という先入観があります。本のはじめに、「私は、学校では出来の悪い方の子どもでした。特に作文では、悪い文章の見本として皆の前で読まれた悲しい思い出があります。」と書いてあり、そういう椋先生が文章を書いて生活するようになったいきさつを書いてみようと思ったという言葉にひきこまれて読み始めました。どこまでが事実でどこからが創作なのだろうと悩みながら読んでいましたが正彦少年のおもしろい生活ぶり、時おり出てくる先